

アロマの香り

アウルを訪れた方に深い印象を残すもののひとつに、アロマの香りがあります。アロマポットはエントランスとラウンジにひとつずつ。香りは、気分をリフレッシュさせるグレープフルーツ、落ち着きをもたらす虫除け効果もあるレモングラス、リラックス効果のあるラベンダーの

3種類から、その日その日を選んでいきます。

ストレス解消や気分一新を促してくれるアロマの香りには、嗅覚を働かせて脳に刺激を与える効果も期待できます。また、照明を落とした室内では、アロマポットが素敵な間接照明に変身。香りと光で心落ち着く空間を演出しています。



スタッフ リレーエッセー

自分らしく生きる

小学生の時、同じクラスに美久という音楽と絵を描くことが好きな女の子がいました。

彼女は小児癌になり、12歳でこの世を去りました。「私、学校に行きたい。皆と一籍に笑ったり勉強もしたい」という言葉と

学校でのイキイキとした姿を、今でもたまに思い出します。

彼女があまりに早く亡くなった事が、子供の私にはショックでしたが、その後「良かったんだ」と思えるようになりました。それは「たとえ長くなくても私らしく望むように生きたい」という彼女の気持ちが、亡くなって渡された「有難う」の手紙で理解できたからだと思います。

「人は生きてきたように死ぬ」という言葉もあります。後悔ばかりの人生にならないよう、笑って人生の幕を下ろせるよう私も毎日をもう少し大事に生きたいと思います。



介護職員 寺田雅美

ご寄贈に感謝いたします

拡大写本サークル「ケロケロ」さんから、小さい文字での読書が難しい方向けの拡大写本の寄贈を受けました。制作には通常1年ほどかかるそうですが、半年で完成させてくださいました。どうもありがとうございました。



▲頂戴した「半七捕物帖 5」は短編集で3部1組

いやし課見習い補 りりこ&ここな

お客様に柵の小窓から
ごあいさつする
"りりこ"です。



こんにちは
ワン!



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その31
2014年7月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



いきいきサロン レストランコンサート

代表取締役 武田 治信

5月25日(日)に札幌交響楽団のチェリスト荒木均氏とピアニストの中村由莉子氏のコンサートを行いました。毎年この時期にお願いして今年で8回目となります。チャップリンの楽曲から始まり、チャイコフスキー、グリーグ、フォーレ、バッハ、カッチーニ、ドヴォルザーク等の楽曲が演奏され、鑑賞にいらした入居者様や近隣にお住いの方々が感動されていました。

曲の合間のお話も楽しく、話題はチェロの構造にまで及びました。また、弓は馬のしっぽから作られていること。象牙やクジラのひげも使われていること。そして、荒木氏所有のチェロは200年前のもので、ヴァイオリンのストラデバリウス5億円とはいかないけれど、中央区の3LDK中古マンションが購入できるくらいの額であることや、弓も車のカローラの新車を買えるほどのも

のだということ、面白おかしく話されました。

ゴーストライター問題で有名になった音楽家の話題も提供していただきました。彼はかなりクラシックに詳しいようで、ゴーストライター氏にあてた作曲の指示書には「何分何秒～何秒はモーツァルト風に、何秒～何秒は大音量で盛り上げて、ここは〇〇音階で」と緻密だったそうです。それに基づいて作られた楽曲「HIROSHIMA」は、札幌でも4月に演奏会を予定していたそうで、すべてが整ったところでゴーストライター問題が発生し、キャンセルになったとのことでした。ちなみに、ベートーベンやバッハも他人の曲を発表していたそうですが、著作権などないころの話です。

素晴らしい演奏とともに、荒木氏の話術で笑いに溢れた楽しい演奏会となりました。

日常的な外出を

体が不自由だったり、歩行に自信のないお年寄りは、移動の制約からちょっとした散歩もあきらめてしまいがちです。外に出るのが億劫になってひきこもってしまうと、こころとからださがさび付いてきますから、高齢者の健康的な暮らしに外出は大切なエッセンスとなります。

アウルも外出行事には力を入れています。特に、配慮しているのが人数です。これまで友だち同士で出かけていた気楽

さで参加していただけるよう、4、5名程度のグループを基本としています。普通の暮らしの外出は、特別なものではなく日常的なもの。入居者様には日常感覚で外出を楽しんでいただきたいと考え、職員が日にちを変えて何度も同じ場所に行くことになっても、少人数・複数グループでの実施にこだわっています。大人数の団体行動にはない自由でアットホームな雰囲気は、入居者様を元気にし、同行する職員にやりがいを感じさせてくれます。



夏の花見が人気

外出行事の行き先はバラエティに富んでいます。4月はスターバックスでコーヒーを味わい、5月は徒歩圏のご近所でのお花見。もりもとのカフェにも行きました。6月はとんでんやかつ徳、風月でランチを楽しみました。

7月は、入居者様のリクエストに応じて、初めて滝野すずらん丘陵公園のラベンダー畑に行きました。参加された皆さんには「今まで行った中で、一番気



持ちが良かった!』と大好評。今後は夏のお花見が外出行事に定着しそうです。

積極的な外出で
元気充填、笑顔いっぱい
おでかけでリフレッシュ!



アウルの四季彩々日記

温室のメンテナンスで、 四季折々のお花をプラス

入居者様からいただいたランの鉢植えが何度も花を咲かせるほど、植物が元気に育つアウルの温室。4月17日(木)、育った植栽を整えるメンテナンスを行い、ペゴニアなど花を咲かせる品種を新たに加えました。1年を通して花が楽しめる空間で、入居者様の温室ウォーキングも一層楽しくなりそうです。



●5/3(火) 中庭のサクラが開花

選定後少し元気がなかったものの、今年も例年通り開花。ご家族には2、3階から楽しむお花見が好評でした。



●5/7(水) いやし課に賞与支給

いやし課の職員に、少し早めのボーナス支給。くわえて遊べる新しいおもちゃに、2匹とも大喜びです。

